

3 「わかった」「できるようになった」～ねらいに即した適用問題の設定

<テーマ>学習展開や学習形態を工夫することで、個に応じた習熟を図る取組（涌谷町立涌谷第一小学校）

実践例 4年「わり算の筆算(1)－わる数が1けた－

単元計画を工夫し、特に「技能」が重視される時間において、適用問題の時間を十分確保できるよう学習展開を工夫した。また、学習形態を工夫して、個に応じて習熟できるようにすることで、「わかった」「できるようになった」という実感をもたせられると考えた。さらに、本時の学習内容や自分の学習への取組について「ふりかえり」を書かせることで、満足感や達成感をもたせられると考えた。

◎ 一単位時間の学習展開の工夫

気付く

- ・ 前時の児童の「ふりかえり」を生かし、既習事項の確認する。

向き合う

- ・ 本時の問題に対する誤答を示し、小グループで検討させてから集団解決の場で話し合わせる。

見つめる

- ・ 適用問題として、類似問題を解かせ、解き方のポイントを全員でしっかりと確認させてから、習熟問題に取り組ませる。

◎ 学習形態の工夫

- ・ 適用問題を解く（個別）
→ 終わった児童からペアを組んで答え合わせをする。（ペア）
- ・ 習熟問題を解く（個別）
→ 答え合わせが終わった児童からドリル等の習熟問題を解き、自分で答え合わせをしながら、どんどん進める。（個別）

- ・ 本時の学習について「ふりかえり」として自分の言葉で振り返る。

前時の学習内容を児童の言葉を生かして、しっかりと確認できる！

誤答の提示により、説明の必要性や説明したいという意欲が生まれ、話し合いのポイントが絞られて、短い時間で解決できる！

類似問題で本時の学習を振り返り、本時の筆算のポイントを確認できる！

ペアで誤答の検討もさせることで教え合い・学び合いの場になる！

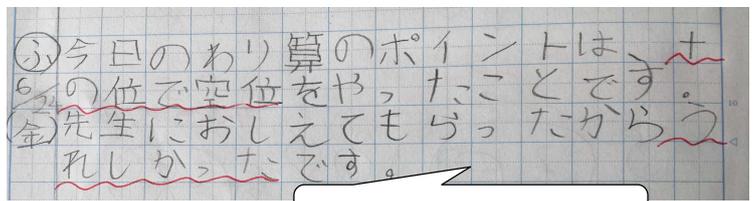
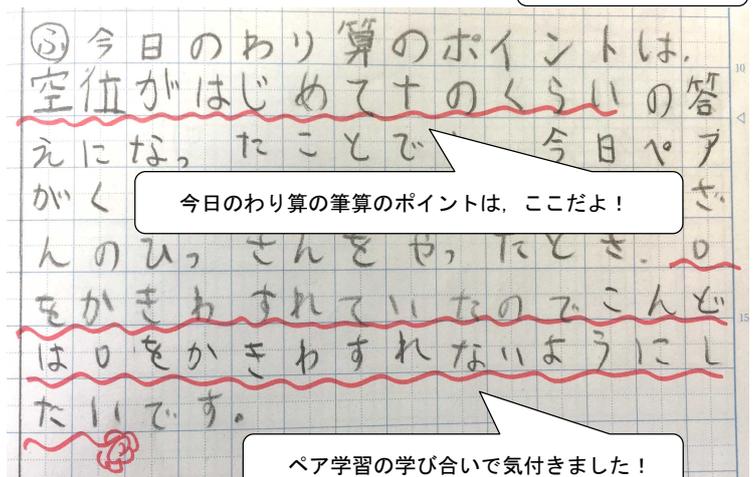
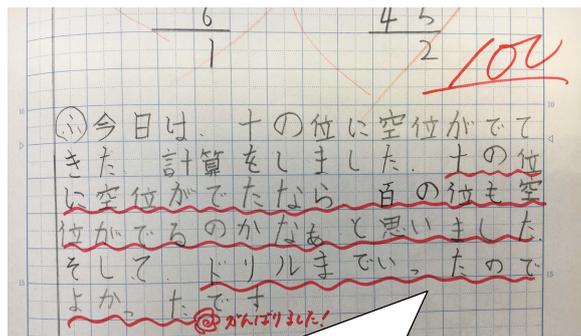
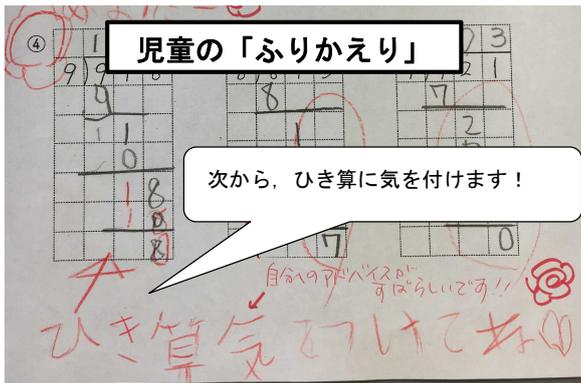
指導者は、支援が必要な児童に対して個別指導ができる！

本時の学習内容や自分の学習の取組を確認させることで、「わかった」「できた」「がんばった」と、自分の学びを実感できる！



【小グループでの検討】
【ペアでの答え合わせ】

【個別指導】



ペア学習の学び合いで気付きました！

先生に教わって、わかったよ！